

上海浦東国際空港の状況 (2021 SEP. 14)

西日本鉄道株式会社 国際物流事業本部

9月12日までの上海浦東国際空港ターミナルの状況

背景

8月20・21日に上海浦東空港ターミナル関係者計5名のコロナ感染が確認され、6万人規模の空港ターミナル全関係者に核酸検査が行われました。この検査の影響により作業員のシフトに支障が発生し、貨物の航空機からの積み降ろし、及び積み込み作業等の処理能力が落ち、貨物が滞留し、その後一週間程度多くの航空会社が運休・貨物の受託制限を行いました。その後航空会社の運休・受託制限については一部緩和され、運航は再開しておりますが、日本発着に関しては通常の50%程度の運航となっております。尚、危険品・保冷品貨物の取扱いについては、当面の間受託出来ません。

ターミナル別取扱航空会社

EAL (MU Terminal)	
	航空会社
UA	ユナイテッド
CK	中国貨運航空
MU	中国東方航空
JL	日本航空
EK	エミレーツ
KE	大韓航空
NH	全日空
TG	タイ航空
CI	チャイナエアライン
SQ	シンガポール航空
CZ	中国南方航空
KZ	日本貨物航空
OZ	アジアナ航空

<空港ターミナル>

上海発 輸出オペレーション

・ MUターミナル

運航便減少により、荷捌きへの影響は少なく、ほぼ正常のオペレーション。

・ PACTL(Pudong International Airport Cargo Terminal Co., Ltd)ターミナル

日本向け便数が少なく影響は軽微。欧米向け取り扱いは一部運休等あり。

上海着 輸入オペレーション

・ MU/PACTLターミナル共通

航空会社の減便により貨物処理能力が戻り、ほぼ正常のオペレーション。

空港到着後、翌日には弊社上海社の保税倉庫への転送が完了。

PACTL	
KA	キャセイドラゴン
CX	キャセイパシフィック
PO	ポーラエアカーゴ
5X	UPS
BR	エバー
Y8	金鵬航空
CA	中国国際航空

台風14号チャンスーの影響

<台風14号チャンスーの影響>

9月13日午後から14日午前中まで、平常時と比較して10便以上のフライトがキャンセルとなりました。

この影響で二つの空港ターミナルではフライトを待つ貨物が更に滞留する事態となりました。本日14日午後2時以降、空港のオペレーションが再開され、ターミナルから航空機への貨物の搭載が始まっております。

弊社上海社の倉庫でも12日以降に搬入された貨物の滞留が発生しておりますが、上海空港だけでなく、中国国内の他空港を活用した代替ルートにより、貨物輸送に取り組んでまいります。

日本発の航空貨物取り扱いに関しましてもコロナの影響によるフライト数の制限とあわせて、台風によるフライトキャンセルにより、更なる混乱を生じております。

10月には国慶節の8連休を控え、輸送需要の増加が見込まれます。

改めてお客様よりの早めの弊社営業担当者へのご相談を頂けますようお願い致します。

皆様ご理解いただけますようお願い致します。